

2027 年度

神奈川大学大学院 入学試験要項

理学研究科

工学研究科

総合理工学研究科^(※)

(※) 総合理工学研究科は、2027 年 4 月開設を予定しています。(設置届出中)

KU 神奈川大学

はじめに

本冊子には、神奈川大学大学院への入学を希望する方に必要な情報が記載されていますので、よく読んでご自身にとって必要な情報を正確に取得し、間違いのないように出願してください。

出願前にお願い

◆「大学院生募集情報」について、本学公式ホームページにて公開していますので、必ずご確認ください。

https://www.kanagawa-u.ac.jp/admissions/news/article0105_03452

◆ **志望する指導教員の研究内容がご自身の研究内容と合致しているかどうかを事前に指導教員とよく相談し、出願書類を提出してください。相談する際は、下記書類をお送りください。**

【事前相談 必要書類】

- ・履歴書（小学校～大学の学歴の詳細、自身の総修学年数、学位取得状況を含む）（本学所定様式）
- ・研究計画書（本学大学院において行う研究活動の計画を記載したもの）（様式任意）

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/admissions/graduateschool/consultation/>

◆ 本学のホームページ等で、志望する指導教員の連絡先を確認できない場合は、ホームページ上の「事前相談申請フォーム」よりご連絡ください。

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=patc-lgnirj-91803cbf03c0b19aa6d9eb7115dffcab>



◆ 本学の入学試験や授業は原則日本語で行われ、英語のみで学位取得ができる研究科はありませんので、日本語能力が必要です。ただし、理学研究科および総合理工学研究科では、志望指導教員が許可すれば、英語のみで修了できる場合がありますので、事前に志望指導教員および入試センターに相談してください。

◆ 出願後、研究科・領域・専攻・試験科目などの変更は一切できません。

◆ 合格発表後でも、入学資格がないことや出願書類に不正があることが判明した場合は入学許可を取り消します。

安全保障輸出管理について

神奈川大学大学院では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「神奈川大学安全保障輸出管理規程」を定め、貨物の輸出や技術の提供、人的交流の観点から学生の受け入れについて厳格な管理を行っています。

規制に該当する場合、希望する研究活動が制限されることや、教育・指導を受けられないことがあります。そのため、**出願前に志望する指導教員と必ず相談を行い、十分に確認してください。**

なお、学生の方は、本学大学院入学後に「外国為替及び外国貿易法」を遵守していただきます。

目次

1	神奈川大学大学院アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）	- 1
2	募集人員	- 1
3	入学試験日程	- 2~3
4	出願資格・出願書類	- 4~14
5	出願方法	- 15
6	入学検定料	- 15
7	出願に関するよくあるご質問	- 16
8	試験時間および試験科目・配点	- 17~26
9	筆記試験免除制度	- 27
10	過去問題について	- 27
11	障がいおよび病気等のある方へ	- 27
12	大規模災害罹災者に対する入学試験等の対応	- 27
13	学修支援制度	- 27
14	試験会場	- 27
15	受験上の注意	- 28
16	合格発表	- 29
17	入学手続	- 29~30
18	学費	- 30
19	奨学金制度	- 30

1 神奈川大学大学院アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本学は、建学の精神や理念に基づき、教育研究上の目的を定め、それを具体化するための「神奈川大学の学士課程教育に関する基本方針（3つのポリシー）」を策定しています。この大学の方針を受け、全学部・学科、研究科・専攻の方針を策定しています。

神奈川大学大学院では、研究科ごとにアドミッション・ポリシーを定めており、本学公式ホームページに掲載しています。

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/disclosure/education/policy/>



2 募集人員

研究科	専攻	領域	博士前期課程 募集人員	博士後期課程 募集人員	修学キャンパス
総合理工学 研究科	理工学専攻	数学領域	179	14	横浜キャンパス
		物理学領域			
		化学領域			
		生物科学領域			
		情報学領域			
		機械工学領域			
		電気電子情報工学領域			
		応用化学領域			
		経営デザイン領域			
		応用物理学領域			
	生命機能学領域				
建築学専攻	-	30	3		

※上記入学定員は、外国人留学生入試・社会人特別入試による募集人員を含みます。

※2026年度夏季入学試験（理学・工学研究科）の定員は若干名とします。

3 入学試験日程

日本国外からの出願については郵送必着です。出願締切までに余裕をもって早めに郵送してください。
郵便事情等のやむを得ない事由により間に合わない場合は、出願前に入試センターへご相談ください。

秋季入学試験(2027年4月入学)

(※)総合理工学研究科のみ実施

夏季入学試験(2026年10月入学)

(※)理学研究科・工学研究科のみ実施

(※)夏季入学試験で合格した場合、授業は9月中旬より開始します。

○博士前期課程／博士後期課程

試験区分	研究科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
【秋季入学試験】 一般入試 外国人留学生入試 社会人特別入試	総合理工学 研究科	[事前相談期間] 2026年 4月1日(水) }	2026年 8月27日(木) [筆記試験] (※)	2026年 9月4日(金) 13:00	【秋季入学試験】 [第一次] 2026年 9月16日(水)
		6月11日(木) [インターネット出願・ 出願書類郵送] 2026年 6月26日(金)9:00 }			8月28日(金) [口述試験]
【夏季入学試験】 一般入試 外国人留学生入試 社会人特別入試	理学研究科 工学研究科	7月1日(水) (消印有効) ※海外郵送は必着			【夏季入学試験】 2026年 9月11日(金)

(※)理学研究科(博士後期課程)、工学研究科・総合理工学研究科の社会人特別入試は、口述試験のみとなります。

春季入学試験(2027年4月入学)

(※)総合理工学研究科のみ実施

○博士前期課程／博士後期課程

試験区分	研究科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
一般入試 外国人留学生入試 社会人特別入試	総合理工学 研究科	[事前相談期間] 2026年 9月1日(火) }	2027年 2月27日(土) [筆記試験] (※)	2027年 3月12日(金) 13:00	2027年 3月17日(水)
		12月16日(水) [インターネット出願・ 出願書類郵送] 2027年 1月5日(火)9:00 }	2月28日(日) [口述試験]		
		1月8日(金) (消印有効) ※海外郵送は必着			

(※)社会人特別入試は口述試験のみとなります。

大学院入試スケジュール

1日目			10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30
理学研究科 (夏季入試のみ実施)	前期	一般	専門						語学					
		留学生	専門						語学					
		社会人							語学					
	後期	一般							語学					
		留学生							語学					
		社会人	筆記試験なし											
工学研究科 (夏季入試のみ実施)	前期	一般	基礎および専門						語学					
		留学生	基礎および専門						語学					
		社会人	筆記試験なし											
	後期	一般							語学					
		留学生							語学					
		社会人	筆記試験なし											
総合理工学研究科	前期	一般	専門科目						語学					
		留学生	専門科目						語学					
		社会人	筆記試験なし											
	後期	一般							語学					
		留学生							語学					
		社会人	筆記試験なし											

2日目			10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30
理学研究科 (夏季入試のみ実施)	前期	一般									口述試験			
		留学生	口述試験								口述試験			
		社会人												
	後期	一般									口述試験			
		留学生	口述試験								口述試験			
		社会人												
工学研究科 (夏季入試のみ実施)	前期	一般									口述試験			
		留学生	口述試験								口述試験			
		社会人												
	後期	一般									口述試験			
		留学生	口述試験								口述試験			
		社会人												
総合理工学研究科	前期	一般									口述試験			
		留学生	口述試験								口述試験			
		社会人												
	後期	一般									口述試験			
		留学生	口述試験								口述試験			
		社会人												

※口述試験は志願者数により開始時間を変更する場合があります。受験票でご確認ください。

4 出願資格・出願書類

博士前期課程

一般入試

次の(1)～(9)の要件のいずれかを満たす者。

- (1) 大学を卒業した者または2027年3月31日までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を取得した者または2027年3月31日までに取得見込みの者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者。
- (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）。
- (5) 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、当該研究科において認めた者。
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者。
- (7) 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者または2027年3月31日までに修了見込みの者。
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること。その他、文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年4月1日までに22歳に達する者。

外国人留学生入試

原則として、日本国籍を有しない者で、「一般入試」記載の出願資格(1)～(9)の要件のいずれかを満たす者。

社会人特別入試

●理学研究科

「一般入試」記載の出願資格(1)～(9)の要件のいずれかを満たし、かつ、次のAまたはBの条件を満たす者（ただし、見込みの者を除く）。

A. 大学卒業後実務経験3年以上の者（家事専従者を含む）。

B. 大学卒業後2年以上の勤務歴があり、企業・学校・官公庁等から所属長の依頼によって派遣される者。

●工学研究科

官公庁・学校・企業等に技術者・教員・研究者等として出願時に2年以上勤務し、かつ、「一般入試」記載の出願資格(1)～(9)の要件のいずれかを満たす者（ただし、見込みの者を除く）。

●総合理工学研究科

「一般入試」記載の出願資格(1)～(9)のいずれかを満たし（見込みの者は除く）、かつ、次のAまたはBの条件を満たす者。

A. 大学卒業（相当するものを含む）後、出願時に通算して3年以上の実務経験（家事専従を含む）を有する者。

B. 大学卒業（相当するものを含む）後、出願時に2年以上の社会人としての勤務歴を有し、企業・学校・官公庁等から所属長の依頼によって派遣される者。

[注意事項]

1. 出願資格(1)の「大学」とは日本国内の大学を指します。
2. 出願資格(2)の「学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を取得した者」とは、大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者のことです。
3. 出願資格(5)および(9)によって出願する者は、個別の入学資格審査(個別審査)を行います。
詳細は、本学公式ホームページより確認してください。
<https://www.kanagawa-u.ac.jp/admissions/graduateschool/individual/>
4. 中国における「高等教育自学考试制度」により卒業した者は、出願資格を確認します。
出願期間前に入試センターに連絡してください。
5. 夏季入学試験に出願する者は、2026年9月30日までに上記の資格を満たす者とし、出願資格(1)(2)(3)(6)(7)(9)における「2027年3月31日まで」または「2027年4月1日」の表記は「2026年9月30日まで」と読み替えるものとします。



博士後期課程

一般入試

次の(1)～(7)の要件のいずれかを満たす者。

- (1) 修士の学位または専門職学位を取得した者あるいは2027年3月31日までに取得見込みの者。
- (2) 修士の学位と同等以上の外国の学位または専門職学位と同等以上の外国の学位を取得した者あるいは2027年3月31日までに取得見込みの者。
- (3) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者あるいは2027年3月31日までに取得見込みの者。
- (5) 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を取得した者あるいは2027年3月31日までに取得見込みの者。
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年4月1日までに24歳に達する者。

外国人留学生入試

原則として、日本国籍を有しない者で、「一般入試」記載の出願資格(1)～(7)の要件のいずれかを満たす者。

社会人特別入試

●理学研究科

「一般入試」記載の出願資格(1)～(7)の要件のいずれかを満たし、かつ、次のAまたはBの条件を満たす者(ただし、見込み者を除く)。

A 修士の学位または専門職学位取得後実務経験3年以上の者(家事専従者を含む)。

B 修士の学位または専門職学位取得後2年以上の勤務歴があり、企業・学校・官公庁等から所属長の依頼によって派遣される者。

●工学研究科

次のいずれかを満たす者。

(ア) 「一般入試」記載の出願資格(1)(2)(4)(5)(6)の要件のいずれかを満たし、かつ、入学時において、博士前期(修士)課程または専門職学位課程を修了後、官公庁・学校・企業等に技術者・教員・研究者等として2年以上勤務した経験を有する者(ただし、見込み者を除く)。

(イ) 次のAまたはBの条件を満たす者

A. 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)。

入学時において、大学卒業後、官公庁・学校・企業等に技術者・教員・研究者等として5年以上勤務した経験を有する者。

B. 本大学院において修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。

入学時において、官公庁・学校・企業等に技術者・教員・研究者等として9年以上勤務した経験を有する者。

●総合理工学研究科

「一般入試」記載の出願資格(1)～(7)のいずれかを満たし(見込み者を除く)後、かつ、次のAまたはBの条件を満たす者。

A. 修士の学位または専門職学位取得(相当するものを含む)後、出願時に通算して3年以上の実務経験(家事専従を含む)を有する者。

B. 修士の学位または専門職学位取得(相当するものを含む)後、出願時に2年以上の社会人としての勤務歴を有し、企業・学校・官公庁等から所属長の依頼によって派遣される者。

[注意事項]


1. 出願資格(7)および工学研究科「社会人特別入試」の出願資格(イ)のBによって出願する者には、個別の入学資格審査(個別審査)を行います。詳細は、本学公式ホームページより確認してください。
<https://www.kanagawa-u.ac.jp/admissions/graduateschool/individual/>
2. 夏季入学試験に出願する者は、2026年9月30日までに上記の資格を満たす者とし、出願資格(1)(2)(4)(5)(7)における「2027年3月31日まで」または「2027年4月1日」の表記は「2026年9月30日まで」と読み替えるものとします。



◎理学研究科出願書類 **博士前期課程** (※)夏季入学試験(2026年10月入学)のみ

以下の表で必要書類を確認し、すべてA4サイズで提出してください。

【様式A~D】は本学公式ホームページよりダウンロードし、出願書類を作成してください。

出願書類		備考
宛名ラベル	全員使用	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能な宛名ラベルを市販の角2サイズ封筒に貼付し、出願書類郵送時に使用すること。
志願票	全員提出	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能。
経歴書 (留学にかかる資金計画含む)	全員提出	【様式A】
卒業(見込)証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・「氏名」「生年月日」「入学年月」「卒業年月」「出身学校名」および「発行日」が必ず記載されていること。学校印が押印されていること。 ・卒業見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・卒業証明書が発行されない、また上記条件を満たさない場合は、卒業証書の Certified True Copy*を提出すること。 ・出願資格(2)で出願する者は学位授与(見込)証明書(原本)を提出すること。 ・夏季入学試験に出願する卒業見込者は、2026年9月30日までに卒業見込であることが明記されたものを提出すること。
成績証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・全在籍期間の成績が記載されているもの。 ・卒業見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・成績証明書が発行されない場合は、成績表の Certified True Copy*を提出すること。 ・他大学出身の者で成績証明書にGPAの記載がない場合は、別途証明書を提出すること。
研究計画書	全員提出	【様式B】※留意事項をよく読んで作成すること。
住民票の写し	該当者のみ	<p style="color: red;">対象:日本国籍を有していない者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー不可。発行日が出願開始日より3か月以内のもの ・国籍・在留資格・在留期間・在留カード番号が明記されているもの
日本語能力評価票	該当者のみ	<p style="color: red;">【様式C】対象:日本国籍を有していない者</p> <ul style="list-style-type: none"> ※在留資格が「永住者」の場合は提出不要。 ※日本語学校や日本の大学等の教員に作成を依頼すること。コピー不可。 ※日本語能力に関する結果を記入した場合は、成績証明書等(原本)を提出すること。
在職証明書等	該当者のみ	<p style="color: red;">対象:社会人特別入試(ただし家事専従者は除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:在職期間・職務内容が明記されているもの。 ・出願資格を満たす在職期間(勤務歴)が確認できるもの。
受験許可書	該当者のみ	<p style="color: red;">対象:社会人特別入試の出願資格B 該当者がかつ入学後も在職する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:所属機関の長が作成したもの。
大学院長期履修学生制度 適用申請書	該当者のみ	<p>【様式D】対象:長期履修学生制度を希望する者</p> <p>詳細は本学公式ホームページをご確認ください。</p> <p>https://www.kanagawa-u.ac.jp/education/program_graduateschool/</p> 

【注意事項】

*Certified True Copy: 証明書(原本)の内容が正しく複製されているものであることを複製元が証明したコピー(複製元は、出身校を原則とし、日本語学校は認められません)。なお、中国国内の教育機関卒業生においては、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する「高等教育學歷認証報告書(原本)」「高等教育成績認証報告書(原本)」も卒業証明書・成績証明書として認めます。公証書は証明書として認められません。

◆提出書類が日本語または英語以外の場合は日本語訳を提出してください。※様式任意/翻訳者署名必須/本人翻訳可

◆海外より出願する場合は、住民票の代わりにパスポートおよび在留カードのコピーを提出してください。

在留カードをお持ちでない方は提出の必要はありません。

◆出身学校が統廃合または改名された場合や、**卒業時と姓または名前が異なる場合**はそれを証明する書類を提出してください。

◎理学研究科出願書類 **博士後期課程** (※)夏季入学試験(2026年10月入学)のみ

以下の表で必要書類を確認し、すべてA4サイズで提出してください。

【様式A~C】は本学公式ホームページよりダウンロードし、出願書類を作成してください。

出願書類		備考
宛名ラベル	全員使用	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能な宛名ラベルを市販の角2サイズ封筒に貼付し、出願書類郵送時に使用すること。
志願票	全員提出	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能。
経歴書 (留学にかかる資金計画含む)	全員提出	【様式A】
博士前期(修士)課程修了(見込)証明書(原本) または 専門職学位課程修了(見込)証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・「氏名」「生年月日」「入学年月」「修了年月」「出身学校名」および「発行日」が必ず記載されていること。学校印が押印されていること。 ・修了見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・修了証明書が発行されない、また上記条件を満たさない場合は、修了証書の Certified True Copy*を提出すること。 ・社会人特別入試を希望し出願資格(3)(7)で出願する方は最終学歴に該当する出身校が発行した卒業(修了)証明書を提出すること。 ・夏季入学試験に出願する修了見込者は、2026年9月30日までに修了見込であることが明記されたものを提出すること。
成績証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・全在籍期間の成績が記載されているもの。 ・修了見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・成績証明書が発行されない場合は、成績表の Certified True Copy*を提出すること。
研究計画書	全員提出	【様式B】※留意事項をよく読んで作成すること。
修士論文の概要 (またはそれに相当するもの)	全員提出	(3,000字程度) ※外国人留学生入試出願者は文字数制限なし。
修士論文の写し (またはそれに相当するもの)	全員提出	(A4片面印刷)
住民票の写し	該当者のみ	対象:日本国籍を有していない者 <ul style="list-style-type: none"> ・コピー不可。発行日が出願開始日より3か月以内のもの。 ・国籍・在留資格・在留期間・在留カード番号が明記されているもの。
日本語能力評価票	該当者のみ	【様式C】 対象:日本国籍を有していない者 <ul style="list-style-type: none"> ※在留資格が「永住者」の場合は提出不要。 ※日本語学校や日本の大学等の教員に作成を依頼すること。コピー不可。 ※日本語能力に関する結果を記入した場合は、成績証明書等(原本)を提出すること。
在職証明書等	該当者のみ	対象:社会人特別入試(ただし家事専従者は除く) <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:在職期間・職務内容が明記されているもの。 ・出願資格を満たす(在職期間(勤務歴)が確認できるもの)。
指導教員の推薦書	任意提出	対象:一般入試
受験許可書	該当者のみ	対象:社会人特別入試の出願資格B該当者または入学後も在職する者 <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:所属機関等または、所属部局の長が作成したもの。

【注意事項】

*Certified True Copy: 証明書(原本)の内容が正しく複製されているものであることを複製元が証明したコピー(複製元は、出身校を原則とし、日本語学校は認められません)。なお、中国国内の教育機関卒業生においては、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する「高等教育学歴認証報告書(原本)」「高等教育成績認証報告書(原本)」も卒業証明書・成績証明書として認めます。公証書は証明書として認められません。

◆提出書類が日本語または英語以外の場合は日本語訳を提出してください。※様式任意/翻訳者署名必須/本人翻訳可

◆海外より出願する場合は、住民票の代わりにパスポートおよび在留カードのコピーを提出してください。


在留カードをお持ちでない方は提出の必要はありません。

◆出身学校が統廃合または改名された場合や、**卒業時と姓または名前が異なる場合**はそれを証明する書類を提出してください。

◎工学研究科出願書類 **博士前期課程** (※)夏季入学試験(2026年10月入学)のみ

以下の表で必要書類を確認し、すべてA4サイズで提出してください。

【様式A~D】は本学公式ホームページよりダウンロードし、出願書類を作成してください。

出願書類		備考
宛名ラベル	全員使用	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能な宛名ラベルを市販の角2サイズ封筒に貼付し、出願書類郵送時に使用すること。
志願票	全員提出	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能。
経歴書 (留学にかかる資金計画含む)	全員提出	【様式A】
卒業(見込)証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・「氏名」「生年月日」「入学年月」「卒業年月」「出身学校名」および「発行日」が必ず記載されていること。学校印が押印されていること。 ・卒業見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・卒業証明書が発行されない、また上記条件を満たさない場合は、卒業証書の Certified True Copy*を提出すること。 ・出願資格(2)で出願する者は学位授与(見込)証明書(原本)を提出すること。 ・夏季入学試験に出願する卒業見込者は、2026年9月30日までに卒業見込であることが明記されたものを提出すること。
成績証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・全在籍期間の成績が記載されているもの。 ・卒業見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・成績証明書が発行されない場合は、成績表の Certified True Copy*を提出すること。 ・他大学出身の者で成績証明書に GPA の記載がない場合には別途証明書を提出すること。
研究計画書	全員提出※	<p>【様式B】※留意事項をよく読んで作成すること。</p> <p style="color: red;">※本学卒業見込者は除く。ただし、国籍が「日本」以外の者は提出すること。</p>
住民票の写し	該当者のみ	<p style="color: red;">対象:日本国籍を有していない者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー不可。発行日が出願開始日より3か月以内のもの。 ・国籍・在留資格・在留期間・在留カード番号が明記されているもの。
日本語能力評価票	該当者のみ	<p>【様式C】対象:日本国籍を有していない者</p> <ul style="list-style-type: none"> ※在留資格が「永住者」の場合は提出不要。 ※日本語学校や日本の大学等の教員に作成を依頼すること。コピー不可。 ※日本語能力に関する結果を記入した場合は、成績証明書等(原本)を提出すること。
在職証明書等	該当者のみ	<p style="color: red;">対象:社会人特別入試(ただし家事専従者は除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:在職期間・職務内容が明記されているもの。 ・出願資格を満たす在職期間(勤務歴)が確認できるもの。
大学院長期履修学生制度適用申請書	該当者のみ	<p>【様式D】対象:長期履修学生制度を希望する者</p> <p>詳細は本学公式ホームページをご確認ください。</p> <p>https://www.kanagawa-u.ac.jp/education/program_graduateschool/</p> 

【注意事項】

*Certified True Copy: 証明書(原本)の内容が正しく複製されているものであることを複製元が証明したコピー(複製元は、出身校を原則とし、日本語学校は認められません)。なお、中国国内の教育機関卒業生においては、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する「高等教育学歴認証報告書(原本)」「高等教育成績認証報告書(原本)」も卒業証明書・成績証明書として認めます。公証書は証明書として認められません。

◆提出書類が日本語または英語以外の場合は日本語訳を提出してください。※様式任意/翻訳者署名必須/本人翻訳可

◆海外より出願する場合は、住民票の代わりにパスポートおよび在留カードのコピーを提出してください。
在留カードをお持ちでない方は提出の必要はありません。

◆出身学校が統廃合または改名された場合や、卒業時と姓または名前が異なる場合はそれを証明する書類を提出してください。

◎工学研究科出願書類 **博士後期課程** (※)夏季入学試験(2026年10月入学)のみ

以下の表で必要書類を確認し、すべてA4サイズで提出してください。

【様式A~C】は本学公式ホームページよりダウンロードし、出願書類を作成してください。

出願書類		備考
宛名ラベル	全員使用	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能な宛名ラベルを市販の角2サイズ封筒に貼付し、出願書類郵送時に使用すること。
志願票	全員提出	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能。
経歴書 (留学にかかる資金計画含む)	全員提出	【様式A】
博士前期(修士)課程修了(見込)証明書(原本) または 専門職学位課程修了(見込)証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・「氏名」「生年月日」「入学年月」「修了年月」「出身学校名」および「発行日」が必ず記載されていること。学校印が押印されていること。 ・修了見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・修了証明書が発行されない、また上記条件を満たさない場合は、修了証書のCertified True Copy*を提出すること。 ・社会人特別入試の出願資格A.B.で出願する方は最終学歴に該当する出身校が発行した卒業(修了)証明書を提出すること。 ・夏季入学試験に出願する修了見込者は、2026年9月30日までに修了見込であることが明記されたものを提出すること。
成績証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・全在籍期間の成績が記載されているもの。 ・修了見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・成績証明書が発行されない場合は、成績表のCertified True Copy*を提出すること。
研究計画書	全員提出※	【様式B】※留意事項をよく読んで作成すること。 ※本学卒業見込者は除く。ただし、国籍が「日本」以外の者は提出すること。
修士論文の概要 (またはそれに相当するもの)	全員提出	(3,000字程度) ※外国人留学生入試出願者は文字数制限なし。
修士論文の写し (またはそれに相当するもの)	全員提出	(A4片面印刷)
住民票の写し	該当者のみ	対象:日本国籍を有していない者 <ul style="list-style-type: none"> ・コピー不可。発行日が出願開始日より3か月以内のもの。 ・国籍・在留資格・在留期間・在留カード番号が明記されているもの。
日本語能力評価票	該当者のみ	【様式C】 対象:日本国籍を有していない者 <ul style="list-style-type: none"> ※在留資格が「永住者」の場合は提出不要。 ※日本語学校や日本の大学等の教員に作成を依頼すること。コピー不可。 ※日本語能力に関する結果を記入した場合は、成績証明書等(原本)を提出すること。
在職証明書等	該当者のみ	対象:社会人特別入試(ただし家事専従者は除く) <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:在職期間・職務内容が明記されているもの。 ・出願資格を満たす在職期間(勤務歴)が確認できるもの。
指導教員の推薦書	任意提出	対象:一般入試

【注意事項】

*Certified True Copy: 証明書(原本)の内容が正しく複製されているものであることを複製元が証明したコピー(複製元は、出身校を原則とし、日本語学校は認められません)。なお、中国国内の教育機関卒業生においては、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する「高等教育学歴認証報告書(原本)」「高等教育成績認証報告書(原本)」も卒業証明書・成績証明書として認めます。公証書は証明書として認められません。

◆提出書類が日本語または英語以外の場合は日本語訳を提出してください。※様式任意/翻訳者署名必須/本人翻訳可

◆海外より出願する場合は、住民票の代わりにパスポートおよび在留カードのコピーを提出してください。

在留カードをお持ちでない方は提出の必要はありません。

◆出身学校が統廃合または改名された場合や、**卒業時と姓または名前が異なる場合**はそれを証明する書類を提出してください。

◎総合理工学研究科出願書類 博士前期課程

以下の表で必要書類を確認し、すべて A4 サイズで提出してください。

【様式 A~D】は本学公式ホームページよりダウンロードし、出願書類を作成してください。

出願書類		備考
宛名ラベル	全員使用	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能な宛名ラベルを市販の角 2 サイズ封筒に貼付し、出願書類郵送時に使用すること。
志願票	全員提出	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能。
経歴書 (留学にかかる資金計画含む)	全員提出	【様式 A】
卒業(見込)証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・「氏名」「生年月日」「入学年月」「卒業年月」「出身学校名」および「発行日」が必ず記載されていること。学校印が押印されていること。 ・卒業見込者は出願以前 3 か月以内に発行したものに限り。 ・卒業証明書が発行されない、また上記条件を満たさない場合は、卒業証書の Certified True Copy*を提出すること。 ・出願資格(2)で出願する者は学位授与(見込)証明書(原本)を提出すること。
成績証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・全在籍期間の成績が記載されているもの。 ・卒業見込者は出願以前 3 か月以内に発行したものに限り。 ・成績証明書が発行されない場合は、成績表の Certified True Copy*を提出すること。 ・他大学出身の者で成績証明書に GPA の記載がない場合には別途証明書を提出すること。
研究計画書	全員提出	【様式 B】※留意事項をよく読んで作成すること。
住民票の写し	該当者のみ	<p><u>対象:日本国籍を有していない者</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー不可。発行日が出願開始日より 3 か月以内のもの。 ・国籍・在留資格・在留期間・在留カード番号が明記されているもの。
日本語能力評価票	該当者のみ	<p>【様式 C】<u>対象:日本国籍を有していない者</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ※在留資格が「永住者」の場合は提出不要。 ※日本語学校や日本の大学等の教員に作成を依頼すること。コピー不可。 ※日本語能力に関する結果を記入した場合は、<u>成績証明書等(原本)</u>を提出すること。
在職証明書等	該当者のみ	<p><u>対象:社会人特別入試(ただし家事専従者は除く)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:在職期間・職務内容が明記されているもの。 ・出願資格を満たす在職期間(勤務歴)が確認できるもの。
受験許可書	該当者のみ	<p><u>対象:社会人特別入試の出願資格 B 該当者かつ入学後も在職する者</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:所属機関の長が作成したもの。
大学院長期履修学生制度適用申請書	該当者のみ	<p>【様式 D】<u>対象:長期履修学生制度を希望する者</u></p> <p>詳細は本学公式ホームページをご確認ください。</p> <p>https://www.kanagawa-u.ac.jp/education/program_graduateschool/</p>



【注意事項】

- *Certified True Copy: 証明書(原本)の内容が正しく複製されているものであることを複製元が証明したコピー(複製元は、出身校を原則とし、日本語学校は認められません)。なお、中国国内の教育機関卒業生においては、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する「高等教育學歷認證報告書(原本)」「高等教育成績認證報告書(原本)」も卒業証明書・成績証明書として認めます。公証書は証明書として認められません。
- ◆提出書類が日本語または英語以外の場合は日本語訳を提出してください。※様式任意/翻訳者署名必須/本人翻訳可
- ◆海外より出願する場合は、住民票の代わりにパスポートおよび在留カードのコピーを提出してください。在留カードをお持ちでない方は提出の必要はありません。
- ◆出身学校が統廃合または改名された場合や、卒業時と姓または名前が異なる場合はそれを証明する書類を提出してください。

◎総合理工学研究所出願書類 博士後期課程

以下の表で必要書類を確認し、すべてA4サイズで提出してください。

【様式A~C】は本学公式ホームページよりダウンロードし、出願書類を作成してください。

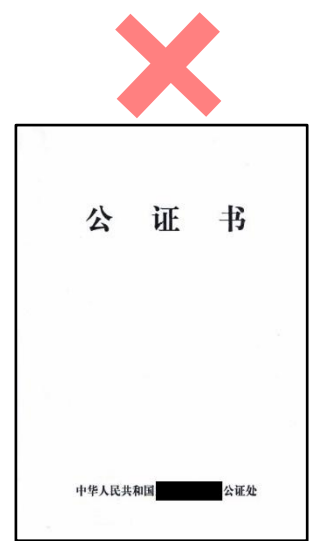
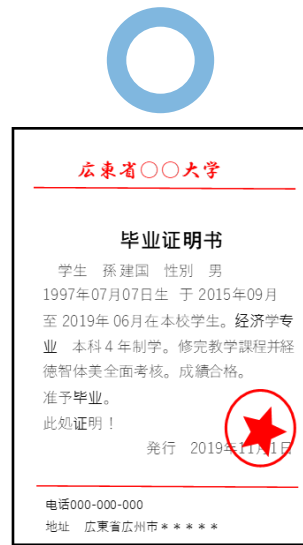
出願書類		備考
宛名ラベル	全員使用	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能な宛名ラベルを市販の角2サイズ封筒に貼付し、出願書類郵送時に使用すること。
志願票	全員提出	入学検定料納入後、『インターネット出願サイト』で出力可能。
経歴書 (留学にかかる資金計画含む)	全員提出	【様式A】
博士前期(修士)課程修了(見込)証明書(原本) または 専門職学位課程修了(見込)証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・「氏名」「生年月日」「入学年月」「修了年月」「出身学校名」および「発行日」が必ず記載されていること。学校印が押印されていること。 ・修了見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・修了証明書が発行されない、また上記条件を満たさない場合は、修了証書のCertified True Copy*を提出すること。 ・社会人特別入試の出願資格(3)(7)で出願する方は最終学歴に該当する出身校が発行した卒業(修了)証明書を提出すること。
成績証明書(原本) 出身学校が発行したものに限り	全員提出	<ul style="list-style-type: none"> ・全在籍期間の成績が記載されているもの。 ・修了見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。 ・成績証明書が発行されない場合は、成績表のCertified True Copy*を提出すること。
研究計画書	全員提出	【様式B】※留意事項をよく読んで作成すること。
修士論文の概要 (またはそれに相当するもの)	全員提出	(3,000字程度) ※外国人留学生入試出願者は文字数制限なし。
修士論文の写し (またはそれに相当するもの)	全員提出	(A4片面印刷)
住民票の写し	該当者のみ	<p>対象:日本国籍を有していない者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー不可。発行日が出願開始日より3か月以内のもの。 ・国籍・在留資格・在留期間・在留カード番号が明記されているもの。
日本語能力評価票	該当者のみ	<p>【様式C】対象:日本国籍を有していない者</p> <ul style="list-style-type: none"> ※在留資格が「永住者」の場合は提出不要。 ※日本語学校や日本の大学等の教員に作成を依頼すること。コピー不可。 ※日本語能力に関する結果を記入した場合は、成績証明書等(原本)を提出すること。
在職証明書等	該当者のみ	<p>対象:社会人特別入試(ただし家事専従者は除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:在職期間・職務内容が明記されているもの。 ・出願資格を満たす在職期間(勤務歴)が確認できるもの。
受験許可書	該当者のみ	<p>対象:社会人特別入試の出願資格B該当者。または、出願資格A該当者で入学後も在職する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式任意:所属機関の長が作成したもの。
指導教員の推薦書	任意提出	対象:一般入試

【注意事項】

- *Certified True Copy: 証明書(原本)の内容が正しく複製されているものであることを複製元が証明したコピー(複製元は、出身校を原則とし、日本語学校は認められません)。なお、中国国内の教育機関卒業生においては、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する「高等教育学歴認証報告書(原本)」「高等教育成績認証報告書(原本)」も卒業証明書・成績証明書として認めます。公証書は証明書として認められません。
- ◆提出書類が日本語または英語以外の場合は日本語訳を提出してください。※様式任意/翻訳者署名必須/本人翻訳可
- ◆海外より出願する場合は、住民票の代わりにパスポートおよび在留カードのコピーを提出してください。
在留カードをお持ちでない方は提出の必要はありません。
- ◆出身学校が統廃合または改名された場合や、卒業時と姓または名前が異なる場合はそれを証明する書類を提出してください。

留学生の皆さんへ

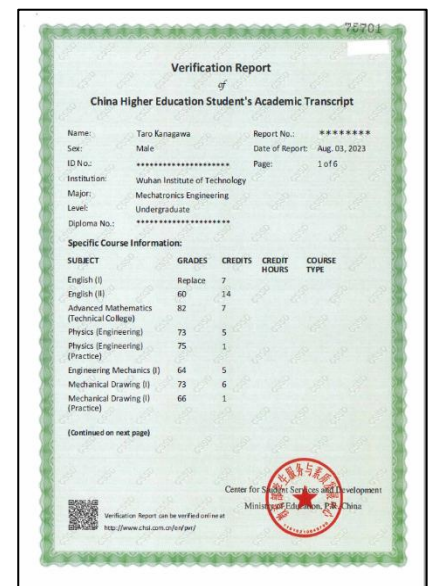
◆ 出願書類について (卒業証書と卒業証明書の違い)



卒業証書 (The Original Diploma)
卒業式などで、出身学校から、原則として「1度だけ」授与されるもの

卒業証明書 (The Certificate of graduation)
学校が申請ごとに発行するもの
※「氏名」「生年月日」「入学年月」「卒業(修了)年月」「出身学校名」および「証明書の発行日」が必ず記載されていること。
※学校印が押印されていること。
※卒業見込者は出願以前3か月以内に発行したものに限り。

◆ 中国国内の教育機関卒業生においては、中国高等教育学生信息网 (CHSI) が発行する「高等教育學歷認証報告書 (原本)」「高等教育成績認証報告書 (原本)」も卒業証明書・成績証明書として認めます。



5 出願方法

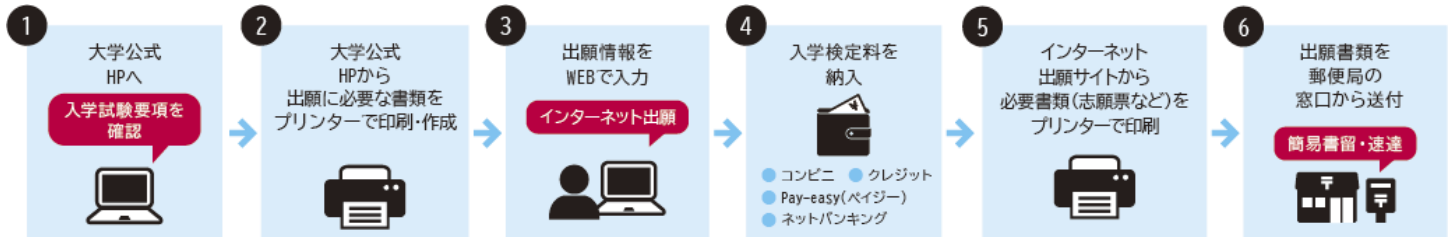
※出願期間を確認のうえ、期間内にすべての手続を完了してください。

※『インターネット出願サイト』での出願登録は、出願開始日の午前 9:00 から開始します。

なお、マイページ ID の取得は、出願期間に関わらず、**2026 年 6 月 22 日(月)午前 9:00** から可能です。

※『インターネット出願サイト』で出願登録しただけでは、正式な出願となりません。

出願登録・入学検定料を納入し、出願書類を出願期間内(消印有効 ※海外郵送は必着)に指定先へ郵送することが必要です。



※出願内容に不備等があった場合は、『インターネット出願サイト』に登録されている電話番号やメールアドレス宛に、神奈川大学入試センターより電話またはメールで連絡します。

045-481-5857(神奈川大学入試センター)より不在着信がありましたら、折り返しご連絡ください。

6 入学検定料

◆入学検定料について

大学院入学試験…Ⅰ 受験 35,000 円

※金融機関の窓口で入学検定料のお支払いはできません。ただし「ペイジー対応ATM」を納入方法に選択した場合は、金融機関のATM(ペイジー対応機)を利用できます。

※大規模災害により罹災された地域(災害救助法が適用された市町村)に受験生または保証人が居住し罹災した場合に入学検定料の免除をしています。詳細は大学公式ホームページを確認してください。

◆入学検定料納入手数料

1度の出願手続につき、入学検定料のほかに、一律 1,100 円のサービス利用料がかかります。なお、支払い方法や合計金額によるサービス利用料の違いはありません。

※お支払い方法によっては、サービス利用料に加えて、別途、手数料がかかることがあります。

◆入学検定料の返還について

納入された入学検定料は原則として返還しませんが、本学が定める事由に該当し、指定期間内に返還申請を行った場合、事務手数料として一律 1,000 円を差し引いた金額の返還を認めることがあります。なお、入学検定料納入に係る手数料は、返還できません。詳しくは本学公式ホームページの入試情報サイトで確認してください。

7 出願に関するよくあるご質問

出願手続の流れについては『インターネット出願サイト』マイページメニューの「STEP1 ガイダンス(出願の流れ) 閲覧・確認」より確認してください。

また、「STEP1 ガイダンス(出願の流れ) 閲覧・確認」にも操作方法などに関する「よくある質問・お問い合わせ」を掲載しています。お困りの際は、併せて確認してください。



Q. プリンターを所有していないのですが、出願書類はどのように印刷すればよいですか。

A. お手持ちの記憶媒体(スマートフォン、USBメモリ等)に出願書類のデータ(PDFファイル)を保存し、コンビニエンスストア等のプリントサービスを利用するか、学校やお知り合いのパソコンとプリンターを使用し、『インターネット出願サイト』マイページメニューの「STEP4 出願確認」から、出願書類をダウンロードして、プリンター出力(印刷)してください。大切な個人情報が含まれていますので、印刷物の置き忘れ等には十分ご注意ください。

※コンビニエンスストア等のプリントサービスについては、各社のホームページ等をご参照ください。

Q. カラープリンターが必要ですか。

A. 必要ありません。ただしカラー印刷が可能な場合には、カラーで印刷してください。

なお、感熱紙プリンター、ドットインパクトプリンターは使用しないでください。

Q. 出願内容を確認したところ、入力の間違いに気づきました。どうしたらよいですか。

A. **入学検定料をお支払い前の場合**

入学検定料のお支払いが済んでいない場合は、出願期間内であれば再登録が可能です。マイページメニュー「STEP4 出願確認」より登録済みのデータを削除した後、再度出願登録を行ってください。なお、既存の出願情報は入学検定料の納入期間を経過した後、自動的に無効となります。

入学検定料をお支払い済みで、出願書類を未発送の場合

神奈川大学入試センター(045-481-5857)までお問い合わせください。

入学検定料をお支払い済みで、出願書類も発送済みの場合

志願者として確定しているため、登録内容の修正・変更および取り消しはできません。

※出願書類(志願票等)に許可なく加工や修正を加えた場合、その変更は認めません。

Q. 出願書類を再度ダウンロードしたいのですが、どうしたらよいですか。

A. マイページメニューの「STEP4 出願確認」から、過去に出願した出願書類をダウンロードできます。

Q. 『インターネット出願サイト』のマイページ登録や出願登録完了後の通知メールが届かないのですが、どうしたらよいですか。

A. メール機能で受信拒否設定をしている場合や、迷惑メールとして認識された場合に、通知メールが届かない場合があります。ドメイン指定受信を設定されている場合は、「@kanagawa-u.ac.jp」「@52school.com」のドメインを「受信可」に設定してください。

なお、メールが受信できない場合でも、出願登録に影響はありません。

Q. 出願書類の送付に使う封筒はどのような封筒ですか。

A. 角2サイズ「240mm×332mm」の封筒を使用してください。白色・茶色どちらでも構いません。コンビニエンスストア等で購入できます。

8 試験時間および試験科目・配点

◎理学研究科(理学専攻)

一般入試

【博士前期課程】

試験科目	領域	数学領域	物理学領域	情報科学領域	化学領域	生物科学領域	試験時間
専門		専修を希望する領域から出題された問題を選択する。 なお、日本語または英語での解答とする。 <数学領域>数学 <物理学領域>物理学 <情報科学領域>情報科学 <化学領域>化学 <生物科学領域>生物学 ①関連分野を含む基礎的事項に関する問題(必須) ②専門分野に関する問題(複数問中3問を当日選択) (200点)					120分
語学		専修を希望する領域から出題された問題を選択する。 英語(辞書1冊参照可 ただし電子辞書は不可)(100点)					60分
口述試験		受験者の志望領域を中心に行う。					—

【注意】1. 筆記試験では電卓等の使用を認めることがありますが、大学で用意したものを使用してください。
 使用可否については、当日指示します。

【博士後期課程】

試験科目	領域	数学領域	物理学領域	情報科学領域	化学領域	生物科学領域	試験時間
語学		専修を希望する領域から出題された問題を選択する。 英語(辞書参照不可)(100点)					60分
口述試験		修士論文および受験者の志望領域を中心に行う。					—

【注意】1. 本学大学院理学研究科博士前期課程修了者および修了見込者については、語学認定試験をもって語学試験に代えます。
 2. 口述試験として、ご自身の研究内容等についてプレゼンテーション形式による口頭発表を課します。発表用のパソコンやデータ(およびバックアップデータ)を忘れずに持参してください。

◎理学研究科(理学専攻)

外国人留学生入試

【博士前期課程】

試験科目	領域	数学領域	物理学領域	情報科学領域	化学領域	生物科学領域	試験時間
専門		専修を希望する領域から出題された問題を選択する。 なお、日本語または英語での解答とする。 <数学領域>数学 <物理学領域>物理学 <情報科学領域>情報科学 <化学領域>化学 <生物科学領域>生物学 ①関連分野を含む基礎的事項に関する問題(必須) ②専門分野に関する問題(複数問中3問を当日選択) (200点)					120分
語学		専修を希望する領域から出題された問題を選択する。 英語(辞書1冊参照可 ただし電子辞書は不可)(100点)					60分
口述試験		受験者の志望領域を中心に行う。					—

【注意】1. 筆記試験では電卓等の使用を認めることがありますが、大学で用意したものを使用してください。
 使用可否については、当日指示します。

【博士後期課程】

試験科目	領域	数学領域	物理学領域	情報科学領域	化学領域	生物科学領域	試験時間
語学		専修を希望する領域から出題された問題を選択する。 英語(辞書参照不可)(100点)					60分
口述試験		修士論文および受験者の志望領域を中心に行う。					—

【注意】1. 本学大学院理学研究科博士前期課程修了者および修了見込者については、語学認定試験をもって語学試験に代えます。
 2. 口述試験として、ご自身の研究内容等についてプレゼンテーション形式による口頭発表を課します。発表用のパソコンやデータ(およびバックアップデータ)を忘れずに持参してください。

◎理学研究科(理学専攻)

社会人特別入試

【博士前期課程】

試験科目 \ 領域	数学領域	物理学領域	情報科学領域	化学領域	生物科学領域	試験時間
語学	専修を希望する領域から出題された問題を選択する。 英語(辞書1冊参照可 ただし電子辞書は不可)(100点)					60分
口述試験	受験者の志望領域を中心に行う。					—

【博士後期課程】

試験科目 \ 領域	数学領域	物理学領域	情報科学領域	化学領域	生物科学領域	試験時間
口述試験	修士論文および受験者の志望領域を中心に行う。					—

[注意] 1. 口述試験として、ご自身の研究内容等についてプレゼンテーション形式による口頭発表を課します。発表用のパソコンやデータ(およびバックアップデータ)を忘れずに持参してください。

◎工学研究科(工学専攻、建築学専攻)

一般入試

【博士前期課程】

専攻・領域 試験科目	機械工学	電気電子 情報工学	応用化学	情報 システム 創成	経営工学	応用物理学	生命機能 工学	建築学	試験時間
基礎および専門	<p><機械工学領域> 数学、工業力学、材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、機械材料学、制御工学から3科目を選択。(各100点)</p> <p><電気電子情報工学領域> (1) 基礎1:数学(100点) (2) 基礎2:電気電子情報基礎(情報基礎・電気回路・電気磁気学から2科目を当日選択)(各100点)</p> <p><応用化学領域> (1) 基礎:基礎化学(100点) 【必須科目】 (2) 専門:物理化学・有機化学・無機化学・分析化学・高分子化学から2科目を選択(各100点)</p> <p><情報システム創成領域> (1) 基礎1:数学(100点) 【必須科目】 (2) 基礎2:コンピュータ科学基礎(100点) 【必須科目】 (3) 専門:応用解析、情報工学から1科目を選択。(100点)</p> <p><経営工学領域> 専門:経営数学、経営工学基礎、生産管理、人間工学から2科目を選択。(各150点)</p> <p><応用物理学領域> (1) 基礎1:物理学(200点) (2) 基礎2:数学(100点)</p> <p><生命機能工学領域> 専門:分子生物学、植物生理学、有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、高分子化学、生化学(基礎生物化学、分子生命化学)から3科目を選択。(各100点)</p> <p><建築学専攻> (1) 小論文(100点) 【必須科目】 (2) 専門:構造・環境・計画から1科目を選択(200点)</p>								120分
語学	英語(辞書参照不可)(100点)								60分
口述試験	受験者が専修しようとする科目を中心に行う。								—

【注意】1. 筆記試験では電卓等の使用を認めることがありますが、大学で用意したものを使用してください。
使用可否については、当日指示します。

【博士後期課程】

専攻・領域 試験科目	機械工学	電気電子 情報工学	応用化学	情報 システム 創成	経営工学	応用物理学	生命機能 工学	建築学	試験時間
語学	英語(辞書参照不可)(100点)								60分
口述試験	修士論文および受験者の専修科目について行う。								—

【注意】1. 応用化学領域では、口述試験として、研究内容についてプレゼンテーション形式による口頭発表を課します。発表用のパソコン、データおよびバックアップデータを入れた USB メモリーを忘れずに持参してください。
2. 建築学専攻では、口述試験の中で、研究内容について口頭発表を課します。パワーポイント等のスライドや修士設計等のポートフォリオを利用したい場合は、ご自身でパソコン・ファイル・ポートフォリオおよびバックアップデータを入れた USB メモリーを口述試験会場に持参してください。

◎工学研究科(工学専攻、建築学専攻)

外国人留学生入試

【博士前期課程】

専攻・領域 試験科目	機械工学	電気電子 情報工学	応用化学	情報 システム 創成	経営工学	応用物理学	生命機能 工学	建築学	試験時間
基礎および専門	<p><機械工学領域> 数学、工業力学、材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、機械材料学、制御工学から3科目を選択。(各100点)</p> <p><電気電子情報工学領域> (1) 基礎1: 数学(100点) (2) 基礎2: 電気電子情報基礎(情報基礎・電気回路・電気磁気学から2科目を当日選択)(各100点)</p> <p><応用化学領域> (1) 基礎: 基礎化学(100点) 【必須科目】 (2) 専門: 物理化学・有機化学・無機化学・分析化学・高分子化学から2科目を選択(各100点)</p> <p><情報システム創成領域> (1) 基礎1: 数学(100点) 【必須科目】 (2) 基礎2: コンピュータ科学基礎(100点) 【必須科目】 (3) 専門: 応用解析、情報工学から1科目を選択。(100点)</p> <p><経営工学領域> 専門: 経営数学、経営工学基礎、生産管理、人間工学から2科目を選択。(各150点)</p> <p><応用物理学領域> (1) 基礎1: 物理学(200点) (2) 基礎2: 数学(100点)</p> <p><生命機能工学領域> 専門: 分子生物学、植物生理学、有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、高分子化学、生化学(基礎生物化学、分子生命化学)から3科目を選択。(各100点)</p> <p><建築学専攻> (1) 小論文(100点) 【必須科目】 (2) 専門: 構造・環境・計画から1科目を選択(200点)</p>								120分
語学	日本語(辞書参照不可)(100点)								60分
口述試験	受験者が専修しようとする科目を中心に行う。								—

【注意】1. 筆記試験では電卓等の使用を認めることがありますが、大学で用意したものを使用してください。
使用可否については、当日指示します。

【博士後期課程】

専攻・領域 試験科目	機械工学	電気電子 情報工学	応用化学	情報 システム 創成	経営工学	応用物理学	生命機能 工学	建築学	試験時間
語学	英語または日本語のいずれか1言語を選択(辞書参照不可)(100点)								60分
口述試験	修士論文および受験者の専修科目について行う。								—

【注意】1. 応用化学領域では、口述試験として、研究内容についてプレゼンテーション形式による口頭発表を課します。発表用のパソコン、データおよびバックアップデータを入れた USB メモリーを忘れずに持参してください。
2. 建築学専攻では、口述試験の中で、研究内容について口頭発表を課します。パワーポイント等のスライドや修士設計等のポートフォリオを利用したい場合は、ご自身でパソコン・ファイル・ポートフォリオおよびバックアップデータを入れた USB メモリーを口述試験会場に持参してください。

◎工学研究科(工学専攻、建築学専攻)

社会人特別入試

【博士前期課程】

専攻・領域 試験科目	機械工学	電気電子 情報工学	応用化学	情報 システム 創成	経営工学	応用物理学	生命機能 工学	建築学	試験時間
口述試験	提出された書類を中心に関連する専門科目および外国語(英語)について行う。								—

【博士後期課程】

専攻・領域 試験科目	機械工学	電気電子 情報工学	応用化学	情報 システム 創成	経営工学	応用物理学	生命機能 工学	建築学	試験時間
口述試験	提出された書類、修士論文に関する科目および外国語(英語)について行う。								—

- [注意] 1. 応用化学領域では、口述試験として、研究内容についてプレゼンテーション形式による口頭発表を課します。発表用のパソコン、データおよびバックアップデータを入れた USB メモリーを忘れずに持参してください。
2. 建築学専攻では、口述試験の中で、研究内容について口頭発表を課します。パワーポイント等のスライドや修士設計等のポートフォリオを利用したい場合は、ご自身でパソコン・ファイル・ポートフォリオおよびバックアップデータを入れた USB メモリーを口述試験会場に持参してください。

◎総合理工学研究科(理工学専攻、建築学専攻)

一般入試

【博士前期課程】

試験科目	専攻・領域	試験時間
専門科目	<数学領域> 【試験科目】数学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題【必須科目】 2. 専門分野に関する問題(複数問中3問を当日選択)(200点)	120分
	<物理学領域> 【試験科目】物理学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題【必須科目】 2. 専門分野に関する問題(複数問中3問を当日選択)(200点)	
	<化学領域> 【試験科目】化学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題【必須科目】 2. 専門分野に関する問題(複数問中3問を当日選択)(200点)	
	<生物科学領域> 【試験科目】生物学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題【必須科目】 2. 専門分野に関する問題(複数問中3問を当日選択)(200点)	
	<情報学領域 計算機科学コース> 【試験科目】情報科学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題(100点) 2. 専門分野に関する問題(複数問中2問を当日選択)(200点)	
	<情報学領域 システム数理コース> 【試験科目】 1. 基礎1:数学(100点)【必須科目】 2. 基礎2:コンピュータ科学基礎(100点)【必須科目】 3. 専門:応用解析、情報工学から1科目を選択。(100点)	
	<機械工学領域> 【試験科目】 数学、工業力学、材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、機械材料学、制御工学から3科目を選択。 (各100点)	
	<電気電子情報工学領域> 【試験科目】 1. 基礎1:数学(100点) 2. 基礎2:電気電子情報基礎(情報基礎・電気回路・電気磁気学から2科目を当日選択)(各100点)	
	<応用化学領域> 【試験科目】 1. 基礎:基礎化学(100点)【必須科目】 2. 専門:物理化学・有機化学・無機化学・分析化学・高分子化学から2科目を選択。(各100点)	
	<経営デザイン領域> 【試験科目】 専門:経営数学、経営工学基礎、生産管理、人間工学から2科目を選択。(各150点)	
	<応用物理学領域> 【試験科目】 1. 基礎1:物理学(200点) 2. 基礎2:数学(100点)	
	<生命機能学領域> 【試験科目】 専門:分子生物学、植物生理学、有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、高分子化学、生化学(基礎生物化学、分子生命化学)から3科目を選択。(各100点)	
	<建築学専攻> 【試験科目】 1. 小論文(100点)【必須科目】 2. 専門:構造・環境・計画から1科目を選択。(200点)	
語学	英語(辞書1冊参照可(ただし電子辞書は不可))(100点)	60分
口述試験	受験者の志望領域、専門科目を中心に行う。	—

【注意】1. 筆記試験では電卓等の使用を認めることがありますが、大学で用意したものを使用してください。
 使用可否については、当日指示します。

【博士後期課程】

試験科目	全専攻・領域	試験時間
語学	英語(辞書参照不可)(100点)	60分
口述試験	受験者の志望領域、専門科目および修士論文を中心に行う。	—

【注意】1. 本学大学院理学研究科、工学研究科および総合理工学研究科の博士前期課程修了者および修了見込者については、語学認定試験をもって語学試験に代えます。

2. 博士後期課程では、口述試験として研究内容についてプレゼンテーション形式による口頭発表を課します。発表用のパソコン、データおよびバックアップデータを入れた USB メモリー等を忘れずに持参してください。

◎総合理工学研究科(理工学専攻、建築学専攻)

外国人留学生入試

【博士前期課程】

試験科目	専攻・領域	試験時間
専門科目	<数学領域> 【試験科目】数学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題【必須科目】 2. 専門分野に関する問題(複数問中 3 問を当日選択)(200 点)	120 分
	<物理学領域> 【試験科目】物理学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題【必須科目】 2. 専門分野に関する問題(複数問中 3 問を当日選択)(200 点)	
	<化学領域> 【試験科目】化学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題【必須科目】 2. 専門分野に関する問題(複数問中 3 問を当日選択)(200 点)	
	<生物科学領域> 【試験科目】生物学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題【必須科目】 2. 専門分野に関する問題(複数問中 3 問を当日選択)(200 点)	
	<情報学領域 計算機科学コース> 【試験科目】情報科学 1. 関連分野を含む基礎的事項に関する問題(100 点) 2. 専門分野に関する問題(複数問中 2 問を当日選択)(200 点)	
	<情報学領域 システム数理コース> 【試験科目】 1. 基礎1:数学(100 点)【必須科目】 2. 基礎2:コンピュータ科学基礎(100 点)【必須科目】 3. 専門:応用解析、情報工学から 1 科目を選択。(100 点)	
	<機械工学領域> 【試験科目】 数学、工業力学、材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、機械材料学、制御工学から 3 科目を選択。 (各 100 点)	
	<電気電子情報工学領域> 【試験科目】 1. 基礎 1:数学(100 点) 2. 基礎 2:電気電子情報基礎(情報基礎・電気回路・電気磁気学から 2 科目を当日選択)(各 100 点)	
	<応用化学領域> 【試験科目】 1. 基礎:基礎化学(100 点)【必須科目】 2. 専門:物理化学・有機化学・無機化学・分析化学・高分子化学から 2 科目を選択。(各 100 点)	
	<経営デザイン領域> 【試験科目】 専門:経営数学、経営工学基礎、生産管理、人間工学から 2 科目を選択。(各 150 点)	
	<応用物理学領域> 【試験科目】 1. 基礎1:物理学(200 点) 2. 基礎2:数学(100 点)	
	<生命機能学領域> 【試験科目】 専門:分子生物学、植物生理学、有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、高分子化学、生化学(基礎生物化学、分子生命化学)から 3 科目を選択。(各 100 点)	
	<建築学専攻> 【試験科目】 1. 小論文(100 点)【必須科目】 2. 専門:構造・環境・計画から 1 科目を選択。(200 点)	

試験科目	専攻・領域	試験時間
語学	<数学領域><物理学領域><化学領域><生物科学領域><情報学領域> 英語(辞書1冊参照可(ただし電子辞書は不可))(100点)	60分
	<機械工学領域><電気電子情報工学領域><応用化学領域><経営デザイン領域> <応用物理学領域><生命機能学領域><建築学専攻> 日本語(辞書参照不可)(100点)	
口述試験	受験者の志望領域、専門科目を中心に行う。	—

【注意】1. 筆記試験では電卓等の使用を認めることがありますが、大学で用意したものを使用してください。
使用可否については、当日指示します。

【博士後期課程】

試験科目	専攻・領域	試験時間
語学	<数学領域><物理学領域><化学領域><生物科学領域><情報学領域> 英語(辞書参照不可)(100点)	60分
	<機械工学領域><電気電子情報工学領域><応用化学領域><経営デザイン領域> <応用物理学領域><生命機能学領域><建築学専攻> 英語または日本語(辞書参照不可)(100点)	
口述試験	受験者の志望領域、専門科目および修士論文を中心に行う。	—

【注意】1. 本学大学院理学研究科、工学研究科および総合理工学研究科の博士前期課程修了者および修了見込者については、語学認定試験をもって語学試験に代えます。

2. 博士後期課程では、口述試験として研究内容についてプレゼンテーション形式による口頭発表を課します。発表用のパソコン、データおよびバックアップデータを入れたUSBメモリー等を忘れずに持参してください。

社会人特別入試

【博士前期課程】

試験科目	全専攻・領域	試験時間
口述試験	受験者の志望領域、専門科目を中心に行う。	—

【博士後期課程】

試験科目	全専攻・領域	試験時間
口述試験	受験者の志望領域、専門科目および修士論文を中心に行う。	—

【注意】1. 博士後期課程では、口述試験として研究内容についてプレゼンテーション形式による口頭発表を課します。発表用のパソコン、データおよびバックアップデータを入れたUSBメモリー等を忘れずに持参してください。

9 筆記試験免除制度

本学大学院入試では筆記試験を免除する制度を設けています。研究科により制度が異なりますので、本学公式ホームページを必ずご確認ください。

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/admissions/graduateschool/special/>

なお、選考結果は、受験票で最終確認をしてください。

※筆記試験免除者には、受験票 A 面「備考欄」および B 面「科目」欄に筆記試験免除と記載します。



筆記試験免除制度

10 過去問題について

大学院入試の過去問題は、本学公式ホームページで閲覧可能です。

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/request/graduateschool/>



過去問題請求

11 障がいおよび病気等のある方へ

障がい（発達上の特性、拡大鏡、補聴器、車椅子の使用等）および病気等の理由により、入学試験当日に配慮を必要とする受験希望者は、所定の期日までに本学入試センターまでご相談ください。事前の申請がない場合、または期日後の申請については、入学試験において、配慮ができない場合がありますのでご注意ください。

◆試験当日に配慮を必要とせず、入学後に配慮が必要となる場合は、大学での生活にスムーズに移行できるよう、合格後速やかにお申し出ください。

◆不慮の事故等により、出願後に配慮が必要になった場合は、速やかにお申し出ください。

12 大規模災害罹災者に対する入学試験等の対応

神奈川大学では、大規模災害により罹災された地域（災害救助法が適用された市町村）に居住されている受験希望者に対し、以下の対応をしています。

◆入学検定料の免除

◆入学金の全額免除

◆入学後の学費減免（罹災状況による）

※詳細は、本学公式ホームページの入試情報サイト（お知らせ）をご覧ください。

13 学修支援制度

学修支援として、本学では昼夜開講制度や大学院長期履修学生制度等の制度を取り入れています。

研究科によって受入れ状況が異なりますので、詳細は本学公式ホームページよりご確認ください。

https://www.kanagawa-u.ac.jp/education/program_graduateschool/



学修支援制度

14 試験会場

試験場（教室・号館等）は試験日当日の掲示で確認してください。

横浜キャンパス

アクセス

◆東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車>> 徒歩約 13 分

◆横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用（東神奈川駅西口経由）>>約 14 分

◆片倉駅前（横浜市営地下鉄）より横浜市営バス利用>>約 14 分



横浜キャンパス

※公共交通機関を利用してお越しください。

15 受験上の注意

持参品について

【持参品（試験時間中に使用を認めるもの）】	
<input type="checkbox"/> 受験票	当日、受験票を忘れた場合は、試験実施本部で再発行手続をしてください。
<input type="checkbox"/> 筆記用具	「H、F、HB」の黒鉛筆（鉛筆キャップ含む）またはシャープペンシル（黒い芯に限る。芯とそのケースは不可）／プラスチック製の消しゴム／鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可） 和歌・格言等が印刷されているものは不可。
<input type="checkbox"/> 時計	辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、学習タイマー、大型のものは不可。 ※試験場内に時計はありません。また、貸出しも行いません。
<input type="checkbox"/> その他	眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの） 「8 試験時間および試験科目・配点（P.17～26）」で参照が認められている資料（辞書等）
【試験時間中に使用を認めないもの】	
<input type="checkbox"/> 携帯電話等 電子機器類 ※通信機器を含む	携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等電子機器類の試験時間中の使用は認めません。 アラーム設定を解除し、電源を切ってカバン等にしまってください。時計として使用することもできません。 試験時間中にこれらの電子機器類を身につけていたり手に持っていた場合は、不正行為として扱われますので、十分に注意してください。イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとします。
<input type="checkbox"/> 電卓・定規等 補助具	電卓や定規等の補助具の試験時間中の使用は原則認めません。 ただし、一部科目で電卓等の使用を認めることがあります。その場合は、大学で用意したものを使用してください（持参したものを使用することはできません）。なお、使用可否は当日指示します。
<input type="checkbox"/> その他	試験に関わる内容（英文字等）がプリントされている服等は着用しないでください。

※昼食は各自持参してください。本学の学食等は利用できません。

※通信機器を含む電子機器類は試験終了まで使用できません。

受験票について

- ◆ 受験票は『インターネット出願サイト』のマイページメニュー「オンライン受験票」より出力してください（出力可能となりましたら、メールで通知します）。受験票の内容に誤り等がないか確認し、注意事項をよく読んでください。
- ◆ 試験当日は受験票を必ず持参してください。当日忘れた場合は、試験実施本部で再発行手続をしてください。

試験場への入場・遅刻について

- ◆ 試験当日に掲示する試験場案内でご自身の試験場を確認してください。
- ◆ 受験生は試験開始 20 分前までに試験場に入室し、指定された席に着席してください。
- ◆ 試験開始後 30 分を過ぎた場合は、原則として受験を認めません。
- ◆ 公共交通機関の乱れや遅れが生じ、遅刻しそうなときは、神奈川大学入試センターまで連絡してください。

試験時間中について

- ◆ 試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合は退出させることがあります。
- ◆ 受験票は、机上の着席カード（受験番号のカード）の手前に置いてください。
- ◆ 試験に関係のないものはカバン等にしまい、自分の座席の下に置いてください。
- ◆ 試験開始後、監督者が写真照合のために巡回します。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することがあります。
- ◆ 試験時間中に具合が悪くなった場合や、それ以外で用事のある時は、静かに手をあげて監督者に知らせてください。
- ◆ 解答用紙が無記名だった場合、不正行為があった場合は、合否判定の対象とはなりません。

不正行為について

- ◆ 不正行為と認定された場合、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。受験した全ての試験科目の成績は無効とします。なお、その場合、入学検定料は返還されません。また、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

退場について

- ◆ 試験時間中は、原則として試験終了まで退場できません。途中退出した場合は合否判定の対象とはなりません。
- ◆ 筆記試験終了後は、監督者の指示があるまで試験場から退出しないでください。
- ◆ 試験問題および解答用紙は一切持ち帰ることができません。
- ◆ 口述試験終了後は、随時解散となります。大学敷地内には留まらず、速やかに帰宅してください。

16 合格発表

マイページによる合否結果確認期間について

秋季入学試験:2026年9月4日(金)13:00~2027年4月30日(金)23:59

夏季入学試験:2026年9月4日(金)13:00~2026年10月31日(土)23:59

春季入学試験:2027年3月12日(金)13:00~2027年4月30日(金)23:59

◆合格発表は、『インターネット出願サイト』マイページメニューの「合否結果」にて行います。

◆郵送や大学内の掲示による発表は行いません。電話等による入試結果や合否等に関する問い合わせには応じません。

◆以下に該当する場合は、合否判定の対象とはなりません。

- (1) 欠席した場合
- (2) 欠格となった場合
 - ・不正行為が認められた
 - ・解答用紙が無記名で個人の識別が出来ない
 - ・大学院入学試験において、所定の試験科目をすべて受験していない

17 入学手続

1. 入学手続

「**3**入学試験日程(P.2)」の入学手続締切日を確認してください。入学手続方法は、合格発表後、『インターネット出願サイト』で確認できます。なお、所定の期日までに入学手続を完了しない場合、入学の権利は取り消されますのでご注意ください。また、入学手続完了後でも、入学資格がないことが判明した場合は入学許可を取り消します。

第二次手続完了後に入学許可が取り消しとなった場合、入学金以外の手続金の返還には入学辞退手続が必要です。

秋季入学試験

入学手続は二段階方式です。各手続期間内に、所定の手続を完了してください。

【第一次手続】「入学金」の納入

【第二次手続】「学費等(分割)」または「学費等(年額)」のいずれかの納入、各種入学者情報の登録、
入学手続書類の郵送

※「学費等(分割)」および「学費等(年額)」は「入学金」が入金済となった場合、選択可能。

なお、納入金を一括で納入することも可能です。一括で納入する場合、第一次手続期間内に「入学金+学費等(分割)」または「入学金+学費等(年額)」のいずれかの納入が必要です。

夏季入学試験

入学手続は一括となります。入学手続締切日までに「入学金+学費等(分割)」の納入、各種入学者情報の登録、入学手続書類の郵送を完了してください。

※当該入試による入学時期は2026年10月(授業は9月から開始)のため、入学手続期間が短くなっています。
合否発表後、円滑に手続ができるように入学手続書類を事前に準備しておいてください。

春季入学試験

入学手続は一括となります。入学手続締切日までに「入学金+学費等(分割)」または「入学金+学費等(年額)」のいずれかの納入、各種入学者情報の登録、入学手続書類の郵送を完了してください。

2. 入学手続書類

詳細は「入学手続要項」で確認してください。入学手続書類に日本語以外で記載されたものがある場合、必ず日本語訳も併せて提出してください。

- (1) 誓約書/同意書
- (2) 住民票の写し(原本)(本人のみ記載、発行から3か月以内、住民登録をしている日本国内の市区町村の役所が発行したもの)
 - ※本籍・マイナンバーの記載は不要。コピーおよび住民票記載事項証明書は不可。
 - ※日本国籍を有しない方は「在留資格」、「期間・国籍」、「在留カード番号」が明記されているもの。
- (3) 博士前期課程…卒業証明書(原本)
博士後期課程…博士前期(修士)課程修了証明書(原本)
- (4) 氏名訂正届(該当者のみ任意提出)

3. 【留学生のみ】在留資格認定証明書交付申請について

入学に伴い在留資格「留学」の取得が必要な場合には、合格後、すみやかに手続を開始してください。
詳細は本学公式ホームページをご確認ください。

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/international/welcome/contact/procedure/>

また、在留資格を「留学」に変更する必要がある場合は、入学手続を行う前に国際課まで連絡してください。

在留資格「留学」に関する問合せについて

神奈川大学国際課 intl-visa@kanagawa-u.ac.jp



4. 入学辞退手続について

指定の期日までに所定の入学辞退手続を完了することにより、入学金を除く学費等の手続金を返還します(納入された入学金はいかなる理由があっても一切返還できません)。詳細は「入学手続要項」で確認してください。

18 学費(2027年度)

(単位:円)

区分 項目		理学研究科・工学研究科・総合理工学研究科					
		博士前期課程			博士後期課程		
		年額	第1分納期	第2分納期	年額	第1分納期	第2分納期
入学金		250,000 (125,000)	250,000 (125,000)	—	250,000 (0)	250,000 (0)	—
学費	授業料	720,000	360,000	360,000	720,000	360,000	360,000
	施設設備資金	230,000 (115,000)	115,000 (57,500)	115,000 (57,500)	230,000 (115,000)	115,000 (57,500)	115,000 (57,500)
	実験実習料	95,000	47,500	47,500	95,000	47,500	47,500
委託徴収金	学生教育研究 災害傷害保険	1,750	1,750	—	2,600	2,600	—
	宮陵会準会員費	15,000 (0)	15,000 (0)	—	15,000 (0)	15,000 (0)	—
合計		1,311,750 (1,056,750)	789,250 (591,750)	522,500 (465,000)	1,312,600 (932,600)	790,100 (467,600)	522,500 (465,000)

上記の学費は、「入学金」・「学生教育研究災害傷害保険」・「宮陵会準会員費」を除き、大学院修了時まで各年次同額です。

(注意)

- 学費の分納を希望する場合は、第1分納期分を入学手続時に納入し、第2分納期分は入学後2027年10月末までに納入してください。夏季入学試験で合格した場合、第2分納期分は2027年4月末までに納入してください。
- 本学卒業生および本学大学院修了者に限り、「入学金」・「施設設備資金」・「宮陵会準会員費」および「合計」は、下段()内の金額です。
- 「実験実習料」は、必要経費の追加納入を求めることがあります。
- 本学に在学しているすべての学生は、日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険に加入することが義務づけられています。初年度のみ納入で、在学中の教育研究活動中に被った災害・傷害に対して保険金が交付されます。
- 教職課程等、資格教育課程の履修者は、登録費等の納入が別途必要です。
- 学外実習を行う科目では、実習費用(交通費、滞在費、諸経費等)が別途必要です。詳細は、修学キャンパス教務課にてご確認ください。
- 長期履修学生制度許可学生は、学費が異なります。詳細は下記より本学公式ホームページをご確認ください。

https://www.kanagawa-u.ac.jp/education/program_graduateschool/pdf/tuition_fees.pdf

19 奨学金制度

本学では多種多様な奨学金制度を整え、サポートしています。

詳細については本学公式ホームページよりご確認ください。

また、日本学生支援機構の第一種奨学金の返還を免除できる制度もあります。

詳細は改めて本学公式ホームページにて公開いたします。

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/admissions/graduateschool/scholarship/>



神奈川大学の個人情報(及び保有個人データ)の取扱いについて

神奈川大学では、教育、研究及び学生支援に必要な業務を遂行するため、十分な安全管理措置を講じた上で、以下の利用目的を定め、その達成のために個人情報(及び保有個人データ)を利用します。また、これらの利用目的を変更する場合は、変更前の利用目的と関連性を有すると合理的に認められる範囲において行い、変更した利用目的を本人に通知又は公表します。

出願にあたって入試センターにお知らせいただいた個人情報については、以下のとおり取扱います。

個人情報(及び保有個人データ)の利用目的

お知らせいただいた個人情報は、以下の利用目的のために使用します。

- (1) 受験票等の発行及び送付のため
- (2) 入学試験の運営のため
- (3) 入学試験の調査及び分析のため
- (4) 入学手続書類等の作成及び送付のため
- (5) 入学辞退等の手続のため

個人情報(及び保有個人データ)の第三者提供について

1. 神奈川大学では、個人情報(及び保有個人データ)の第三者提供は、以下の場合に限り行います。

本法人は個人情報保護法第27条に基づき、次に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人情報(個人データ)を第三者に提供しません。

- (1) 法令に基づく場合
- (2) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
- (3) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。
- (4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- (5) 個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除き、当該個人データの提供が学術研究の成果の公表又は教授のためやむを得ないとき。
- (6) 当該個人データを提供する目的の一部又は全部が学術研究目的である場合であって、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除き、当該個人データを学術研究目的で提供する必要があるとき。ただし、本法人と当該第三者が共同して学術研究を行う場合に限る。
- (7) 当該個人データを取り扱う目的の一部が学術研究目的である場合を含み、個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除き、当該第三者が学術研究機関等である場合であって、当該第三者が当該個人データを学術研究目的で取り扱う必要があるとき。

なお、利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報の全部又は一部を委託する場合は第三者への提供に該当しません。

2. 神奈川大学の関係団体へ個人情報(個人データ)を提供する場合

神奈川大学では、教育事業に係る次の団体に対して、各種連絡・通知・送付物の発送業務及び会員管理等のため、学籍情報等を電子データ又は書面により提供します。この取扱いについての申出は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

- (1) 一般社団法人神奈川大学宮陵会(卒業生・在校生による同窓生団体)
- (2) 株式会社 KU パートナース(学校法人神奈川大学が100%出資する事業会社)
- (3) 神奈川大学生生活協同組合(福利厚生事業のための団体)
- (4) 丸紅リアルエステートマネジメント株式会社(福祉厚生事業のための団体)

3. 業務委託等について

本法人は、個人情報の取扱いを含む業務の一部又は全部を学外の業者等(以下「受託者」という。)に委託する場合、守秘義務を明記した契約の締結とともに、業務目的の達成に必要な範囲内において情報を提供するものとし、個人情報の安全管理が図られるよう、別に定める個人情報の取扱業務に関する委託先管理基準に基づき、受託者に対する必要かつ適切な監督を行います。

個人情報の取扱い等に関する問合せについて

この個人情報の取扱いに関する問合せ、個人情報の内容の開示、訂正等の申出については、下記までご連絡ください。

【神奈川大学入試センター】

〒221-8624 横浜市神奈川区六角橋 3-26-1 TEL:045-481-5857 FAX:045-481-5759

KU 神奈川大学

神奈川大学入試センター 大学院担当

〒221-8624 横浜市神奈川区六角橋 3-26-1
E-mail: admissioncenter@kanagawa-u.ac.jp
TEL (045) 481-5857

神奈川大学公式ホームページアドレス: <https://www.kanagawa-u.ac.jp/>